CASBEE 大阪 みらい 建築物総合環境計画概要書 新築

■使用評価マニュアル：CASBEE大阪みらい（新築）　I使用評価ソフト：「CASBEE大阪みらい 新築」2024年版 (v.1.0.5)

1-1 建物概要

建物名称	（仮称）大阪市生野区新今里1丁目新築マンション計画
建設地	生野区新今里1丁目
建物用途	集合住宅
建築主	
設計者	
竣工年	2028年2月　予定
構造/階数	RC造　/　地上12階
敷地面積	858.15 ㎡
建築面積	404.29 ㎡
延床面積	3722.67 ㎡

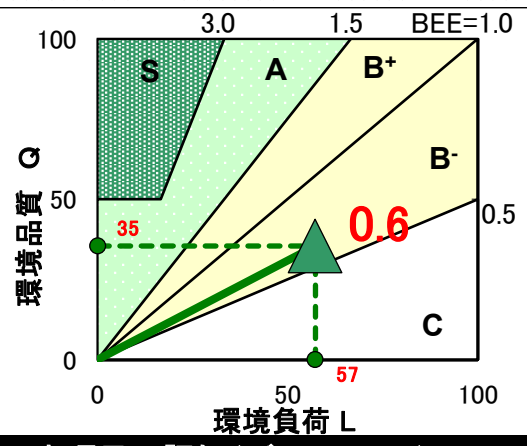
1-2 外観

2-1 建築物の環境効率（BEEﾗﾝｸ&ﾁｬｰﾄ）

B-

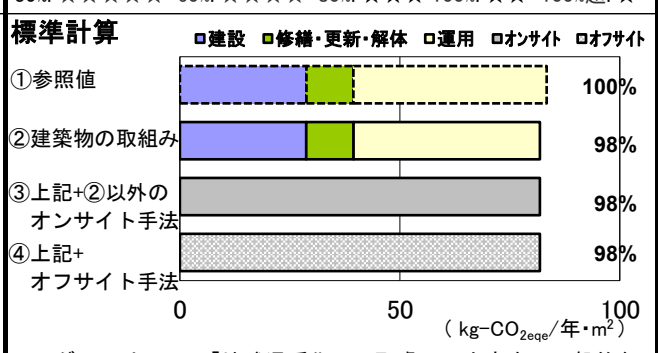
BEE = 0.6

S: ★★★★★ A: ★★★★ B+: ★★★ B-: ★★ C: ★



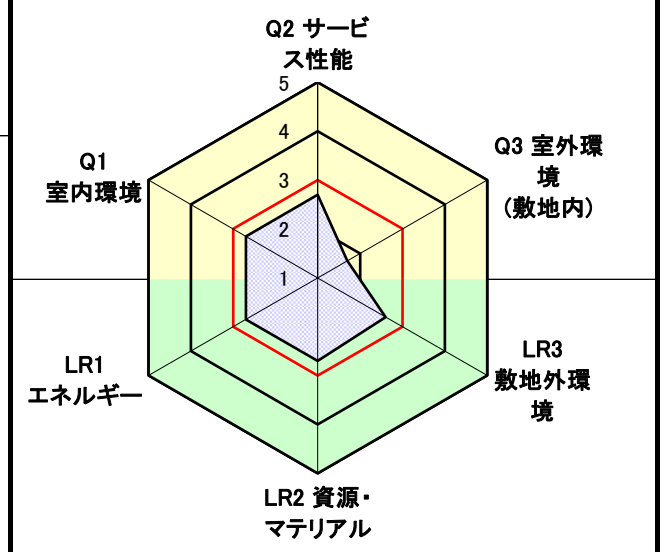
2-2 ホールライフカーボン（温暖化影響ﾁｬｰﾄ）

30%: ☆☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆☆ 80%: ☆☆☆ 100%: ☆☆ 100%超: ☆



このグラフはLR3.1「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物（参照値）と比べたWLC 排出量の目安で示したものです。
④は参考として運用分をBEI+で表示しています。

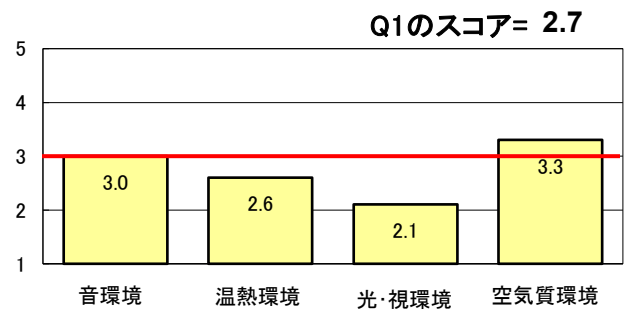
2-3 大項目の評価（ﾚｰﾀﾞｰﾁｬｰﾄ）



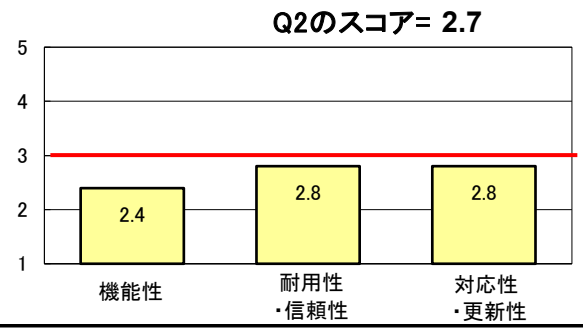
2-4 中項目の評価（バーチャート）

Q 環境品質　　Q のスコア= 2.4

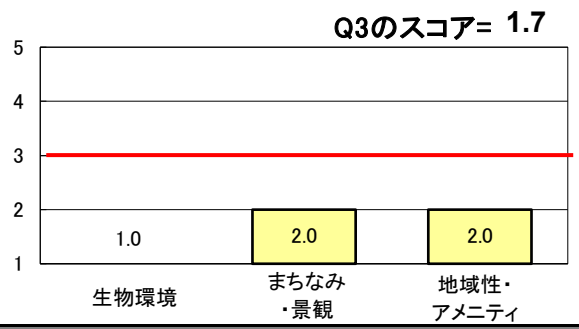
Q1 室内環境　Q1のスコア= 2.7



Q2 サービス性能　Q2のスコア= 2.7

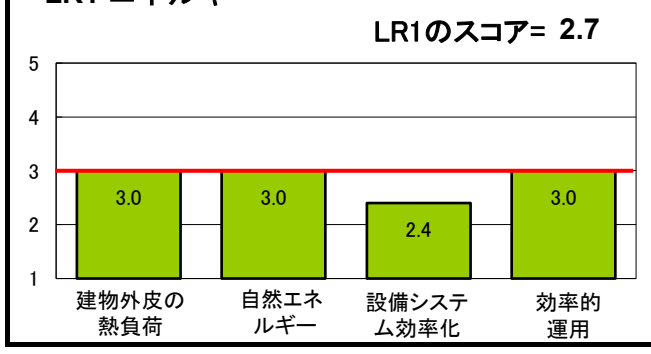


Q3 室外環境（敷地内）　Q3のスコア= 1.7

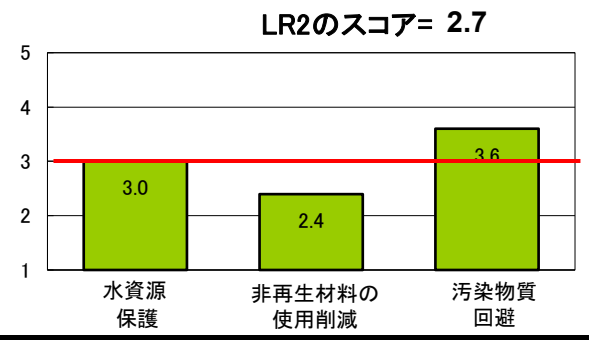


LR 環境負荷低減性　　LR のスコア= 2.7

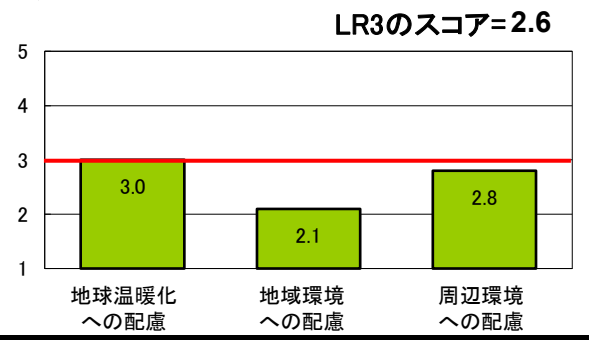
LR1 エネルギー　LR1のスコア= 2.7



LR2 資源・マテリアル　LR2のスコア= 2.7



LR3 敷地外環境　LR3のスコア=2.6



3 設計上の配慮事項

総合
地上12階建てRC造の集合住宅の新築計画であり、全住戸1LDKの間取りで入居者のニーズに合わせた安全で住みやすい共同住宅としている。

その他
なし。

Q1 室内環境
屋根、外壁の断熱施工により内部の熱負荷を抑え、住戸間は遮音を考慮した構造となっている。また、接着剤・塗装材等はシックハウスを考慮したものを使用している。

Q2 サービス性能
給排水等の配管・点検口は共用部から容易にアクセス・維持管理できる設計とし、建物の長寿命化と利便性の向上を図っている。

Q3 室外環境（敷地内）
周辺の街並みや景観に配慮した形状、色彩の計画としている。また、道沿いに多くの緑地を設けることにより、街並みに心地よい緑の景観を形成している。

LR1 エネルギー
断熱施工をし、室内エネルギーの省力化を図っている。

LR2 資源・マテリアル
住戸間仕切りを廃材の分別が容易な木+PBのパネル工法にしている。また、階高を等しくすることでRC躯体型枠の転用率を高めている。さらには、住戸タイプの上下左右同タイプ率を高め、建材の量産を防いでいる。

LR3 敷地外環境
建物の階数を12階とし境界から離すことで、近隣建物への日照・風通しを良くしている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency（建築環境総合性能評価システム）
■Q: Quality（建築物の環境品質）、L: Load（建築物の環境負荷）、LR: Load Reduction（建築物の環境負荷低減性）、BEE: Built Environment Efficiency（建築物の環境効率）
■「ホールライフカーボン（WLC）」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の温室効果ガス排出量のこと。ここでは、建築物の寿命年数で除した年間温室効果ガス排出量で表示。
■評価対象のWLC排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

建築物環境性能表示　結果〔重点評価〕

総合評価BEE　=　0.6

ラベル表示



環境性能		評価点	
(1)CO2削減		3.0	
CO2削減に配慮した環境性能			概要記入欄
LR3/ 1 /　/	地球温暖化への配慮	3.0	
配慮事項			

環境性能		評価点	
(2)みどり・ヒートアイランド対策		2.0	
みどり・ヒートアイランド対策に配慮した環境性能			概要記入欄
Q3 / 1 /　/	生物環境の保全と創出	1.0	
Q3 / 3 /3.2/	敷地内温熱環境の向上	2.0	
LR3/ 2 /2.2/	温熱環境悪化の改善	2.0	
配慮事項			

環境性能		評価点	
(3)建物の断熱性		3.0	
CO2削減に配慮した環境性能			概要記入欄
LR1/ 1 /　/	建物の熱負荷抑制	3.0	
配慮事項			

環境性能		評価点	
(4)エネルギー削減		2.0	
CO2削減に配慮した環境性能			概要記入欄
LR1/ 3 /　/	設備システムの高効率化	2.4	
配慮事項			

省エネルギー基準計算結果

基準適合状況	適合

※ 外皮性能については、住宅部分が等級4（相当）以上、非住宅部分が1.0以下であること
※ 住宅部分の一次エネルギー消費量については、BEIが1.0以下であること
※ 非住宅部分の一次エネルギー消費量については、「建築物エネルギー消費性能基準等を定める省令（以下、「省令」という）」第1条第1項第1号もしくは、省令第1条第1項第3号に掲げる基準以下であること。

	住宅部分（品確法等級）		非住宅部分[BPI][BPIm]
外皮性能	等級4	（相当）	-

	住宅部分[BEI]	非住宅部分[BEI][BEIm]
一次エネルギー消費量	0.96	-